



第74回 院内コンサート

ひの ともこ
ピアノ:日野 智子さん

第18回(平成25年12月)ご出演

演奏者プロフィール



フェリス女学院短期大学音楽科卒業、同専攻科修了。渡欧し、ウィーン市立コンセルヴァトリウムを最優秀で卒業後、シューベルトコンセルヴァトリウム弦楽科専属伴奏者を務める。

第30回ヴィオッティコンクールにてディプロマ賞。帰国後はソロおよび室内楽の分野で演奏活動を行う。瀬川方子、大島君子、H. シュタードラー各氏に師事、J. ディヒラー、D. イリエフ、F.W. シュヌア各氏の指導を受ける。現在フェリス音楽教室講師。横浜音楽文化協会会員。

プログラム

J. P. ラモー 新クラヴサン組曲集 より イ調の組曲

(アルマンド ~ クーラント ~ サラバンド ~ 三つの手~
小さなファンファーレ ~ 意気揚々 ~ ガヴォットと6つの変奏)

W. A. モーツァルト ピアノソナタ へ長調 K. 332

日時 : 平成30年8月18日(土) 13時30分開演
場所 : 亀田病院 新館待合ホール

医療法人明和会 亀田病院

プログラムと曲目解説

J. P. ラモー 新クラヴサン組曲集より イ調の組曲

ラモーは、フランスのバロック音楽を代表する作曲家です。
フレンチ・バロックの香りと現代ピアノの響きとの融合をお楽しみください。

- I. アルマンド：ドイツ風舞曲
- II. クーラント：2拍子と3拍子が入り混じったフランスの舞曲
- III. サラバンド：スペイン由来の舞曲
- IV. 3つの手：右手と左手が交錯する軽やかな小品
- V. 小さなファンファーレ：穏やかで愛らしい和声的な小品
- VI. 意気揚々：元気いっぱいのロンドー
- VII. ガヴォットと6つの変奏：親しみやすいメロディとその変奏

W. A. モーツァルト ピアノソナタ ヘ長調 K. 332

モーツァルトの幸福な時代のソナタの一つで、彼らしい「華」を感じさせる佳作です。

- 第1楽章 アレグロ：
明るいテーマで始まるが、ドラマティックな変化が楽しい曲。
- 第2楽章 アダージョ：
モーツァルトらしさ溢れる、シンプルで愛らしい緩徐楽章。
- 第3楽章 アレグロ：
快活で遊び心満載の終楽章。